

お客様にお伝えしたい  
マツダ・赤色への  
「4つのこだわり」

■ソウルレッド プレミアムメタリック

***SOUL RED PREMIUM METALIC***

by

**匠塗 TAKUMINURI**



# HISTORY

1: 赤色のクルマづくりへのこだわり



# 赤色にこだわるマツダのバックグラウンド

古くはコスモに始まり、初代ロードスターやRX-7といったスポーツカーの定番カラーで印象的な「赤」スポーティーなDNAを脈々と引継ぐマツダにはかつて一大センセーションを巻き起こした「赤いファミリア」や、使い勝手の良さでファミリーに愛されたMPVなど様々なクラスの車種に合わせ、その時代時代でのこだわりの赤を開発してきたバックグラウンドがあります。

# PRODUCTION

2: 開発段階でのこだわり



華やかなモーターショーのステージで脚光を浴びるコンセプトカー。コンセプトカーの製作では、コストをかけ、職人技の手作業で作れば、「鮮やかな深みのある赤」は実現できます。それでは、量産車両でコンセプトカー並みのクオリティを表現するにはどうすべきか。

「赤」はマツダの象徴的な色！ どこにも負けない赤を作りたい！！ マツダの開発陣の飽くなき挑戦が始まりました。

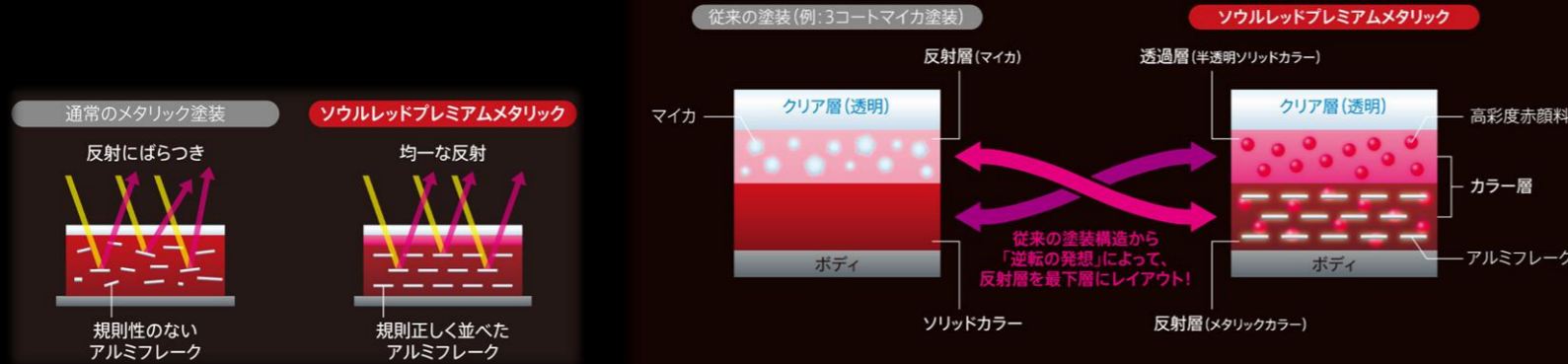


2年の開発期間を経て、「赤いファミリア」の頃に入社したエンジニアが、常識に囚われない究極の塗装技術：「匠塗 TAKUMINURI」の開発に成功。

# DEVELOPMENT

3: 開発の熱い想いを、生産現場で実現させるこだわり

# ～開発の想いを、生産に繋げる～ マツダの風土が生み出した最高にエモーショナルな輝きと深み



ソウルレッドプレミアムメタリックのポイントは、役割の異なる3つの塗装膜。最下層は、均一に光を反射する高輝度アルミフレークを規則正しく配置した【赤メタリック塗装】第2層は、その光を受けて鮮やかに発色する【半透明カラー層】そして、その上に透明感を際立たせる【クリア層】を塗装。これは、従来のマイカ塗装とは逆転の発想で考えられた技術。



また、職人のハンドペイントに匹敵する質感を持ちながら環境に優しい3ウェットオン塗装によって量産化を実現しています。

# FASCINATION

4: 所有する歓びを生む、魅せるこだわり

ボディカラーを語る上で欠かせない「陰影感」と「鮮やかさ」。

「陰影感」とは、光が当たった際の明（ハイライト）と暗（シェード）のメリハリの強さ。「鮮やかさ」とは、ハイライトによる明るさのこと。

通常、明るいボディカラーでは共存の難しい明（ハイライト）と暗（シェード）をソウルレッドプレミアムメタリックでは、高次元で両立しております。非常に精巧な陰影のあるメリハリを表現できるこのカラーは、「魂動」の躍動感あるデザイン表現を最大限に際立たせます。見るたびに、触れるたびに所有する歓びを満たしてくれるでしょう。



# 究極を目指した「明」と「暗」の共存

